

製品名: PLK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03292**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	PLK1
別名	PLK1; PLK; Serine/threonine-protein kinase PLK1; Polo-like kinase 1; PLK-1; Serine/threonine-protein kinase 13; STPK13
遺伝子 ID	5347
SwissProt ID	P53350
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

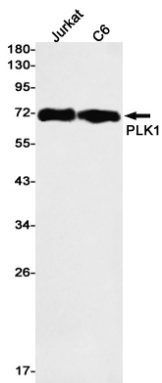
背景

DNA 損傷チェックポイント後の回復と有糸分裂開始に必要。BUB1B のキネトコア局在に必要。SGOL1 をリン酸化。SGOL1 アイソフォーム 3 の紡錘体極局在に必要であり、その中心小体接着機能の調節に関与する。BORA をリン酸化することで BORA の分解を促進する。AURKA 機能の調節に寄与する。TOPORS のリン酸化を介して TP53 の安定性を調節する。

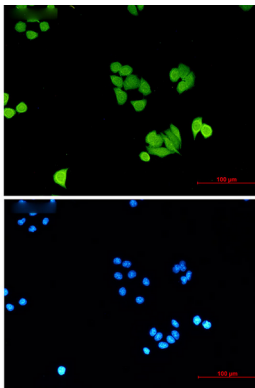
研究分野

細胞生物学

画像データ



PLK1 抗体を使用した Jurkat、C6 溶解物中の PLK1 のウェスタン プロット分析。



PLK1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の PLK1 (緑) の免疫細胞化学分析